

電力の現先連携サービス 「JJ-Link」について

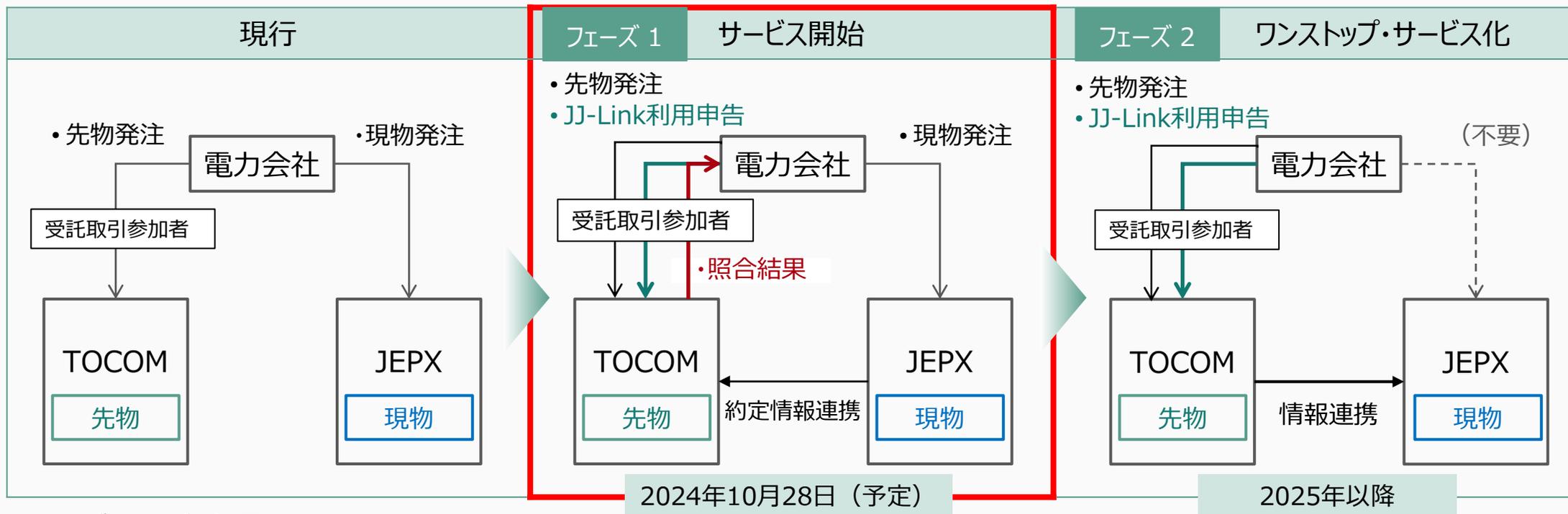
株式会社東京商品取引所 市場企画担当



現・先連携サービス「JJ-Link」の概要

- JEPXとTOCOMは、**現物・先物の取引間の連携サービス**として、TOCOMの先物ポジションに相当する現物をJEPXのスポット取引で調達するサービス（「JJ-Link」）を**2段階で開始**する方針です。
- 今回開始する第1段階（フェーズ1）では、TOCOM・JEPX間の情報連携により先物取引と現物取引の結びつきを確認するサービスを提供します。

<JJ-Linkのイメージ>



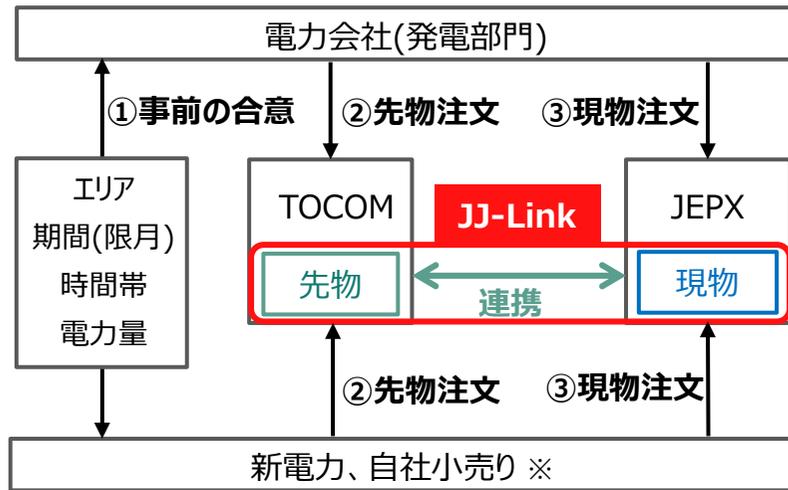
<フェーズ1 サービス概要>

- 電力会社は、先物取引を委託する受託取引参加者を通じてJJ-Link利用に係る申告をTOCOMに提出。
- 電力会社はJJ-Link用として準備したJEPX IDを使って、自社で申告どおりにJEPXスポット市場へ入札。
- TOCOMは、先物建玉情報及びJEPXから連携された約定情報に基づき、JEPXスポット市場における各コマの約定が、申告内容と一致するか確認し、各コマごとの成否を記した照合結果を提供。

【参考】市場取引を利用した無差別的な電源供給について「JJ-Linkの活用」

- 現・先連携サービス（「JJ-Link」）を活用し、あくまで**市場を通じて電力会社の無差別的な電源供給**を実現。

具体的な方法



新電力への供給

- ① 大手電力（発電部門）と新電力がスポット市場を通じた売買に合意（市場価格での取引）
- ② 大手電力（発電部門）と新電力はそれぞれTOCOMのフォワードカーブを参考に先物取引
➡相手先は自由で、金融機関、海外トレーダーも含む
- ③ JJ-Linkにより先物と現物の結びつきを証明

自社小売りへの供給

- ※ 電源入札の未約定分を自社小売りが購入する場合も、上記と同様の手法にする

フォワードカーブ

- ・ 将来の電力受渡し価格の見通し
- ・ 先物約定値段や電力会社などから提供される価格予測等を参考に作成

想定されるメリット

● 市場における自由な取引で価格決定

相対契約と異なる点

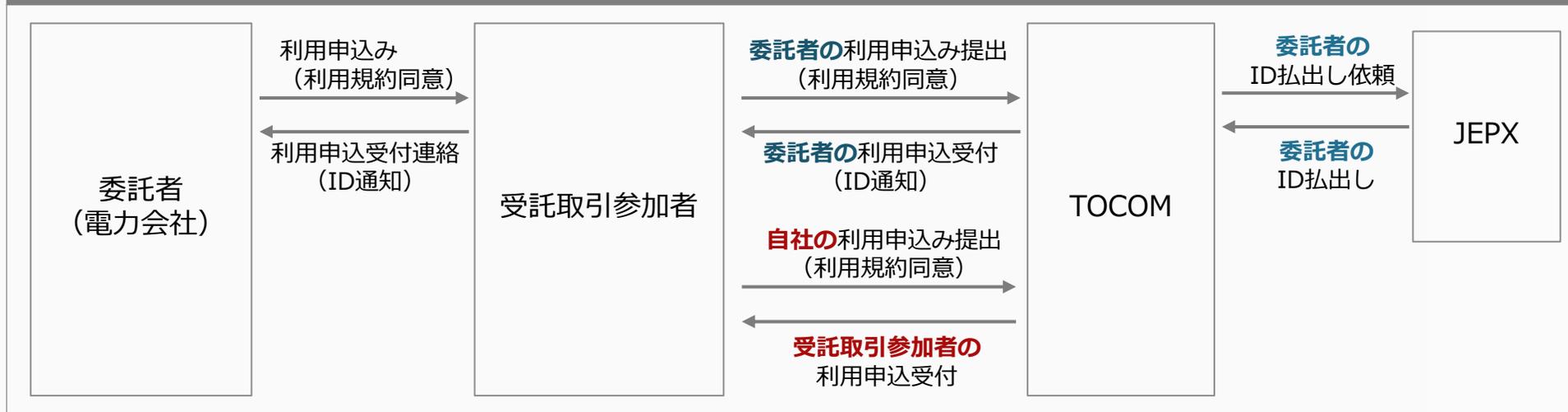
- ・ 先物市場で相手先が無差別に決まる
- ・ 売り方・買い方で先物市場を利用する時期が異なることも可能
- ・ 取引所の規律の下での取引
- ・ 内外無差別の観点からの事後検証が容易（スケジュール等）

- クリアリングにより、カウンターパーティリスク（信用リスク）を遮断（クリアリング付先渡取引として機能）
- 現先紐づけにより、ヘッジ会計のための証跡として利用可能
- 柔軟な期間選択が可能（6か月、9か月、15か月、夏・冬3か月等）
- TOCOMフォワードカーブへの準拠により、透明な価格決定
- 取引コストが小さい

JJ-Link利用の流れ

- JJ-Link利用の流れは以下のとおりです。
- 電力会社がJJ-Linkを利用する場合は、JEPXの会員であり、TOCOMの受託取引参加者に先物取引を行うための口座を開設している必要があります。

事前準備（利用申込み）



申告提出の流れ



JJ-Link利用申込書

■ JJ-Link利用申込書及び利用規約はJPXウェブサイトより取得が可能です。

【JPXウェブサイト (https://www.jpx.co.jp/)】

The image shows a screenshot of the JPX website with a red arrow pointing from the left-side menu to the '電力先物' (Power Futures) page. The left-side menu is expanded to show the path: 先物・オプション (Futures & Options) → 商品 (Commodities) → エネルギー (Energy) → 電力先物 (Power Futures). The main content area shows the '電力先物' page with a red box highlighting the 'JJ-Link' section at the bottom, which contains links for 'JJ-Link利用規約' (Terms of Use) and 'JJ-Link利用申込書' (Application Form). A red thought bubble points to these links with the text 'こちらからダウンロードが可能です。' (You can download from here).

JPXウェブサイトトップ左側メニューより

先物オプション→商品→エネルギー→電力先物

こちらからダウンロードが可能です。

電力会社がJJ-Linkを利用する場合

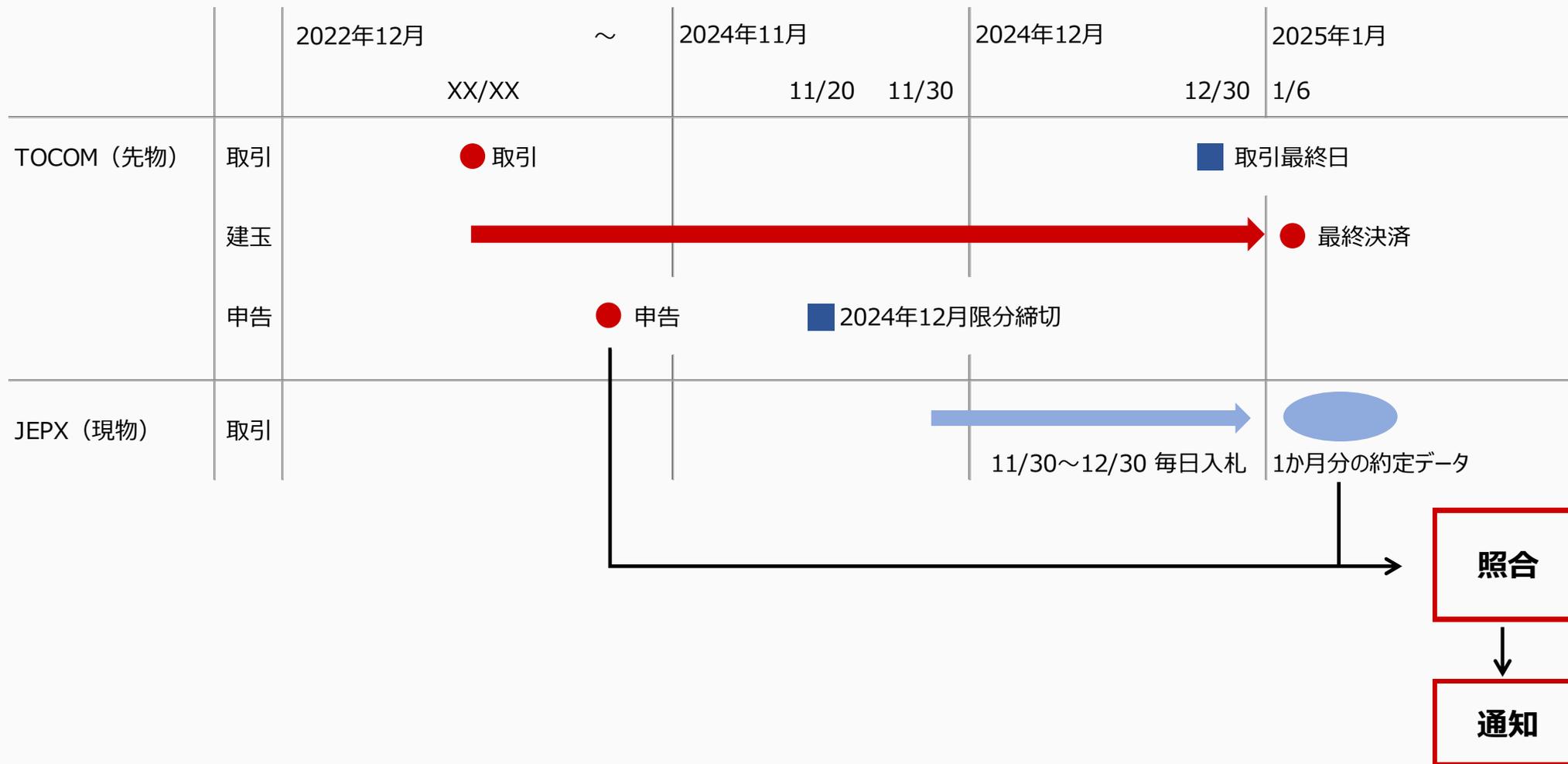
■ 電力会社がJJ-Linkを利用する場合の流れは以下となります。

事前申込み	①利用申込み	<ul style="list-style-type: none">・ JEPX及びTOCOMが提供する利用規約を御確認いただき、内容に御同意いただいたうえで申し込みください。 【利用規約掲載ページ】 https://www.jpx.co.jp/derivatives/products/energy/electricity-futures/index.html・ 利用申込書は受託取引参加者にご提出いただき、<u>受託取引参加者経由</u>でTOCOMに提出することになります。・ 利用申込みは<u>随時</u>受け付けます。
	②専用入札IDの発行（受領）	<ul style="list-style-type: none">・ JJ-Linkに申込みを行った電力会社を対象に、JJ-Linkの利用に係るJEPXスポット市場への<u>専用入札ID</u>を付与（<u>無料</u>）します。・ 専用入札IDはJEPXからTOCOMに連携され、TOCOMからは<u>受託取引参加者経由</u>で電力会社にIDを通知します。
サービス利用時	③申告データの提出	<ul style="list-style-type: none">・ TOCOM電力先物の建玉のうち、JJ-Linkの対象とする建玉数を申告します。・ 申告データは次ページの要領に基づき作成し、<u>受託取引参加者経由</u>でTOCOMに提出します。・ TOCOMの先物取引のエリアと異なるエリアを対象とした申告も可能です。 （例）TOCOM…東エリア・ベースロード（東京）、JEPX入札…東北エリア・ 申告データの提出締切は、JJ-Linkの利用に係る申告の対象となる先物取引の取引最終日の属する月の前月20日（20日が休業日である場合は繰り上げ）とします。 【例】2024年12月限（12月受渡し入札分）：2024年11月20日まで
	④JEPXへの入札	<ul style="list-style-type: none">・ JJ-Linkの利用に係る申告相当分の現物取引について、<u>専用入札ID</u>を利用して入札します。
	⑤照合結果の提供（受領）	<ul style="list-style-type: none">・ TOCOMは、先物建玉情報及びJEPXから連携された約定情報に基づき、JEPXスポット市場における各コマの約定が、申告内容と一致するか確認し、各コマごとの成否を記した照合結果を提供します。・ 照合結果は、JEPXスポット市場での入札の翌月に<u>受託取引参加者経由</u>で提供します。 【例】2024年12月受渡し入札分：2025年1月 通知

JJ-Link利用の申告例

- 申告を行う場合の時系列は以下のとおりです。

【ベースロード2024年12月限（JEPX12月受渡し分）の例】



申告データの作成

■ JJ-Linkの利用に係る申告データの作成にあたっては以下の入力規則にて作成してください。

1. ファイル形式
CSV形式

2. ファイル名

JJLINK_YYYYMMDD_XXXXX_XXXXXX.csv

YYYYMMDD : 日付 / XXXXX : 取引参加者コード* / XXXXXX : JEPX入札ID

3. データレイアウト

項目名	属性	桁数	項目属性	必須項目	項目説明	備考
申告日	char	8	半角数字	必須	西暦8桁 (YYYYMMDD)	例)2024年9月1日 ⇒ 20240901
参加者コード	char	5	半角英数字	必須	取引参加者コード5桁	受託取引参加者の取引参加者コード*
取引参加者名	char	80		必須		受託取引参加者の会社名*
JEPX入札ID	char	6	半角英数字	必須	英数字6桁	JEPXから付与される専用入札IDの番号
会社名	char	80		必須		建玉報告記載の会社名と同じと表記*
商品コード	char	2	半角数字	必須	61~64 (2桁)	61 : 西エリア・ベースロード、62 : 西エリア・日中ロード、63 : 東エリア・ベースロード、64 : 東エリア・日中ロード
商品名	char	50		必須		西エリア・ベースロード、西エリア・日中ロード、東エリア・ベースロード、東エリア・日中ロード
限月	char	6	半角数字	必須	西暦6桁 (YYYYMM)	例)2024年9月 ⇒ 202409
申告枚数(売)	char	8	半角数字	必須		申告のない売りについては「0」を入力
申告枚数(買)	char	8	半角数字	必須		申告のない買いについては「0」を入力
希望受渡しエリア	char	2	半角数字	必須	01~09 (2桁)	01 : 北海道、02 : 東北、03 : 東京、04 : 中部、05 : 北陸、06 : 関西、07 : 中国、08 : 四国、09 : 九州
備考	char	100		-		自由記入欄

※ページ中の*については電力会社（委託者）の方は委託先の受託取引参加者にご確認ください。

【参考】申告データの作成時の注意

■ JJ-Linkの利用に係る申告データの作成時には以下の注意事項をご確認ください。

(1) 各項目間を"," (カンマ) で区切る、CSVデータ形式とします。

(2) 1レコード目はヘッダ項目 (固定値) となるため、2レコード目以降に申告データを入力してください。

ヘッダ項目：申告日,参加者コード,取引参加者名,JEPX入札ID,会社名,商品コード,商品名,限月,申告枚数(売),申告枚数(買),
希望受渡しエリア,備考

(3) 各項目は、"で囲わないでください。

良い例 : 123,456,789

悪い例 : "123","456","789"

(4) 各項目に"," (カンマ) を含めないようにしてください。

悪い例 : 数値に「1,000」、会社名に「,ltd」

(5) 項目は、可変長とします。(「項目説明」に桁数の指定があるものは固定長です。)

(6) 1レコードの中で入力するデータがない項目が存在する場合においても項目分の"," (カンマ) を付与してください。

良い例 : 1レコード6項目で、2項目しか入力データがない場合 - 111,,222,,,

悪い例 : 1レコード6項目で、2項目しか入力データがない場合 - 111,,222

(7) 各レコードの最後には改行コードを付加してください。

(8) 文字コードは「S-JIS」を指定してください。

Excelから保存する場合は「CSV(カンマ区切り)」で新規保存することで「S-JIS」となります。

(9) Excelから編集する場合、先頭が0から始まる項目については、書式設定を文字列に設定してください。

申告データの追加及び修正

- 4ページ③に記載する締め切りまでの間、いつでも申告データを提出することが可能です。また、申告データは積み上げで集計しますのでご注意ください。

(1) 新たな約定などにより、対象限月における申告数が増えた場合は、増加分について追加で申告データを提出してください。

【例】

TOCOMでの先物取引					JJ-Link利用に係る申告					
約定日	商品	限月	枚数	売買	申告日	商品	限月	枚数	売買	
2024/11/1	東エリア・ベースロード	2025年4月限	10	買	→ ①	2024/11/1	東エリア・ベースロード	2025年4月限	10	買
2024/12/1	東エリア・ベースロード	2025年4月限	10	買	→ ②	2025/3/10	東エリア・ベースロード	2025年4月限	10	買

※2025年4月限の申告については2025年3月19日までの間いつでも提出が可能です。

①と②の申告により、東エリア・ベースロード2025年4月限について、買い20枚の申告を行ったこととなります。

(2) 原則として申告データの訂正はできませんが、誤りがあった場合は既申告との差分のデータを提出することにより修正を行ってください。

【例】

TOCOMでの先物取引					JJ-Link利用に係る申告					
約定日	商品	限月	枚数	売買	申告日	商品	限月	枚数	売買	
2024/11/1	東エリア・ベースロード	2025年4月限	20	買	→ ①	2024/11/1	東エリア・ベースロード	2025年4月限	30	買
					②	2024/11/1	東エリア・ベースロード	2025年4月限	-10	買

①と②の申告により、東エリア・ベースロード2025年4月限について、買い20枚の申告を行ったこととなります。

※同じファイル名の申告データが提出された場合は先に提出されたデータが無効となりますので、提出日同日に修正を行う場合は、積み上げができるようファイル名(②のファイル名)の最後に「_修」を付けてください。

訂正のファイル名 : 修正JJLINK_YYYYMMDD_XXXXX_XXXXXX_修.csv

お問い合わせ先

株式会社東京商品取引所 総合業務室 市場企画担当

Tel : 050-3361-1529

e-mail : tocom_mp@jpx.co.jp



免責事項：

本資料に関する著作権は、株式会社東京商品取引所（以下「TOCOM」）にあります。本資料の一部又は全部を無断で転用、複製することはできません。本資料は、TOCOMの先物取引に関する制度の概要説明のみを目的として提供されるもので、先物取引の勧誘を目的としたものではありません。先物取引においては、商品価格、為替相場の変動等によって損失が生じるおそれがあり、差し入れた証拠金の全部若しくは一部を失う、または、差し入れた証拠金を超える損失を被ることがあります。また、相場変動等により証拠金額に不足が生じた場合には、追加の差し入れが必要となります。取引に際しては、あらかじめ取引先の商品先物取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で取引を行っていただきますよう、お願い申し上げます。また、本資料に含まれる記述などの使用に関し、TOCOMは一切責任を負いません。TOCOMは本資料に記載の事項に関し、将来予告なしに変更することがあります。